

上板橋第一中学校改築基本設計説明会

東京都中高層建築物の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例に基づく説明会

【参加人数】

7/24（月） 上板橋第一中学校 ランチホール：大人3

7/25（火） 上板橋第一中学校 体育館：大人12 小人1

7/29（土） 上板橋第一中学校 体育館：大人5

開催日	会場	内容	回答
7/24	ランチホール	新校舎では教科センター方式を採用することのだが、特別支援学級（知的）の生徒は教科センター方式のようなオープンなスペースを利用することができるのか。	特別支援学級のエリアにも、メディアスペースと同様にオープンスペースがあります。また、特別支援学級の生徒も、教科のメディアスペースで学びを深めることができます。その他、メディアセンターや特別教室等の他の学習施設についても、特別支援学級の生徒が幅広く利用することができます。
7/24	ランチホール	特別支援学級（知的）かつ1.5km未満の地域に住んでいるが、路線バス以外の手段を利用して通学することは可能か。	板橋区として、原則、自転車での通学は認めていません。特別支援学級の生徒には、GPSの貸与により保護者が安心して通学させられるような支援を検討しています。
7/25	体育館	既存校では、災害時のトイレとして利用できる汚水マンホールが一つしかない。 備蓄倉庫には、「マンホールトイレ」・「ベンキック」・「固めるタイプのトイレ」があるが、それらの設備を災害時に活用するためには、汚水マンホールが複数個所必要になる。新校舎においては、マンホールトイレの設置可能数は何ヶ所なるのか、設置位置もあわせてお聞きしたい。	区立学校の上下水道の耐震化工事もかなり進んでおり、非常時に学校のトイレを使用できる可能性があります。上下水道破損時に備え、現在の防災備蓄倉庫には、基本的に「マンホールトイレ」・「ベンキック」・「固めるタイプのトイレ」の3種類を用意してあります。新校舎の設計では、マンホールトイレとベンキック用の汚水マンホールを敷地北側の「地域開放・連携ゾーン」と西側の「屋外倉庫棟付近」にそれぞれ3ヶ所（1ヶ所はベンキック用）ずつ、合計6ヶ所を計画しています。

開催日	会場	内容	回答
7/25	体育館	地域連携・地域開放の部屋を地域が利用するにあたり、新校舎は生徒達に危険が及ばない計画となるのか。	地域連携・地域開放利用と学校運営をどのように分けていくかは、運用面での検討になりますが、新校舎のセキュリティ区画等は生徒の安全面に十分配慮し、かつ、地域の方も利用しやすい計画としていく予定です。
7/25	体育館	旧上板橋第二中学校への通学に不安を抱えている。バス通学補助の対象範囲は直線で1.5kmとあるが、実際の歩行距離が1.5km以上あることについて、どう考えているのか。また、自転車通学は可能なのか。	バス通学補助の対象範囲は、直線で1.5km以上としています。板橋区においては、区内の中学校は、原則、直線で1.5km以内に配置する、という一定の決まりがあるためです。自転車通学につきましては、安全面から原則、禁止としています。
7/25	体育館	既存校舎では、西側駐車場とグラウンドの間に段差があり、消防車両等の出入りが難しい。新校舎では、緊急車両が入ってくる事ができるのか。	新校舎の設計では、緊急車両が西門から入り、スロープを通過してグラウンドへ進入することを計画しています。また、緊急車両は南西門からもグラウンドに進入することができます。
7/28	意見書	防災機能として、限られた数の汚水マンホールで、 ① 下水道管路（本管）の真上にマンホールを設置するか、下水道管につながる排水栓に設置するかで、給水タンクに水を供給するなどマンホールトイレの使用方法が異なる。給水を必要とする場合、5階のプール水の配管方法などを考慮して設計されているか。 ② ベンキックのホースの長さや複数のベンキック設置を考慮した汚水マンホールの位置関係を設計しているか。	① 5階の受水槽からの給水を考えています。そのうえで配管方法などを考慮し設計します。 ② ベンキック用のマンホールをホースの長さ等を考慮した上で北側・西側にそれぞれ1カ所ずつ計画します。

開催日	会場	内容	回答
7/29	体育館	地域連携・地域開放ということだが、災害時の地域連携についてはどのように運営していくのか。	地域連携スペースの運営については、施設が竣工してから地域と学校が協議を進めていくところにはなるとは思いますが、上板橋第二中学校では地域テラスにある「かまどベンチ」を使って防災訓練をしています。
7/29	体育館	自主管理歩道の幅はどの程度になるのか。西側歩道上空地の緑化、グラウンド周りのフェンスはどのような景観への配慮があるのか。	自主管理歩道の幅は2mを確保しています。防球ネットの高さは、西側12m、南側10mで設計しています。石神井川沿いの植栽帯をできる限り残す設計としています。
7/29	体育館	西側12mのフェンスは圧迫感があるのではないかと。下頭橋からの石神井川の桜までの抜けている見え方がきれいであることから見え方に配慮した計画としてほしい。	ご意見をいただき、設計のなかで検討していきます。
7/29	体育館	トイレについて、オールジェンダー・インクルーシブに配慮することや車いす用トイレを設置することのことだが、災害時にはどのようにトイレを使用するのか。要望として、災害時にも十分な数のトイレがあった方がいい。	区立学校の上下水道の耐震化工事もかなり進んでおり、非常時に学校のトイレを使用できる可能性があります。また、備蓄倉庫に「マンホールトイレ」が4つ、「ベンキック」が4つ、「固めるトイレ」を用意しています。状況に応じてトイレを組み合わせ使用していただければと考えています。
7/29	体育館	板橋区では教科センター方式を進めているとのことだが、教科センター方式は先進的な事例になるのか。	教科センター方式を導入したことで、「一定程度の学力向上がみられ、生徒が能動的に行動するようになる。」「時間割に沿って時間管理を行えるようになる。」等の報告を受けております。板橋区では、上板橋第一中学校と同時に事業を進めている志村第四中学校を合すると、5校において教科センター方式を行うこととなります。教科センター方式を5校実施している自治体は少ないと考えております。

開催日	会場	内容	回答
7/29	体育館	上板橋第一中学校の新校舎に非常用発電はあるのか。	今回の工事では施設として非常用発電機設置の予定はありません。一方で、板橋区では災害時の電源確保として、ポータブル発電機を防災備蓄倉庫に用意しています。
7/29	体育館	西側道路は日頃から交通量が多い。工事中に工事車両が出入りすることにより、環状七号線まで渋滞することが考えられる。	現在の工事計画では、西側道路から敷地内へ工事車両が出入りする予定です。詳細の説明については、工事業者が決まり次第、工事説明会を行います。また、工事車両の出入り等については、交通誘導員を配置して環状七号線が渋滞にならないように交通整理を行う等、適切に対応いたします。
7/29	体育館	新校舎の防音性能はどのようになるのか。	既存校舎の防音サッシと同等またはそれ以上の性能とし、学校運営に支障がないよう設計します。
7/31	意見書	<p>【バス代金補助について】</p> <p>先日の説明会にて、補助金対象は直線距離 1.5 キロ以上と説明がありましたが、学びのエリアである常盤台小学校、弥生小学校、上板橋小学校から進学するすべての生徒を対象にしたいです。</p> <p>昨今の気温上昇による猛暑の中、炎天下で徒歩による長距離の通学には不安があります。経済的事情から補助金がない場合には徒歩通学をするしか選択肢が無いご家庭もあるかもしれません。</p> <p>直線距離で 1.5 キロ以内であっても実際には 30 分以上かかる場合もあり、猛暑の中、重い教科書を背負いながらの通学は熱中症の不安があります。先日も中学生が熱中症で亡くなっています。全ての生徒が安心してバス利用できるようにご検討いただきたいです。</p>	<p>今回、対象者について多くのご意見をいただきました。皆様から頂いたご意見をもとに、改めて対象者の検討をさせていただきます。また今回は、審議会の答申において基準とされている直線距離 1.5 km を基準とさせていただいております。</p> <p>通学する生徒の負担については、学校運営における ICT の活用等も含め、生徒の負担を軽減できるよう、学校と調整させていただきます。</p>

開催日	会場	内容	回答
7/31	意見書	<p>【オールジェンダーに配慮したトイレについて】</p> <p>手洗いエリアを男女共用にすることだけでは、ジェンダーに配慮しているとは思えません。</p> <p>実際の性別と性自認が異なる場合、実際の性別ではなく自認している性別でのトイレ利用を許可するのでしょうか？その辺りの判断が難しい現状では、共用エリアがあっても結局は実際の性別のトイレを使用することが予想され、性的マイノリティの方々にとっては何の意味もないように思います。</p> <p>かと言って、バリアフリートイレの利用は、障がい者の方など本当に必要な方に遠慮をして使いにくいと思いますので、男子トイレ、女子トイレの他に男女共用トイレの設置を検討していただきたいです。全てのジェンダーの生徒さんが快適に過ごせる学校作りを望みます。</p>	<p>新校舎トイレのオールジェンダーへの配慮につきましては、ユニバーサルデザインに関する学識経験者にアドバイスをいただき、通常の「男女別トイレ」を1～4階に2ヶ所ずつと5階に1ヶ所配置し、「バリアフリーに配慮したトイレ」を1～5階に1ヶ所ずつ、「男女共用トイレ」を2～4階に1ヶ所ずつ配置しています。また、動線によるアウティングに配慮して、廊下から直接トイレに入るのではなく、トイレ内に入ってからの動線が男女に分かれる計画としております。トイレの使用方法等の運営につきましては、ご意見を踏まえながら学校と協議してまいります。</p>
8/26	意見書	<p>【バス通学補助について】</p> <p>子供が特別支援学級8年に在籍中の保護者です。</p> <p>③ バス通学補助とは具体的に定期券代の全額補助か。それとも当該区間の利用券のようなものが配布されますか。</p> <p>④ 当該路線は都営バス、国際興業バスの2社が運行しているがバス通学補助の対象はどちらになりますか。それとも両会社とも利用可能な特別な券が発行されますか。</p> <p>⑤ (②の解答によっては)現在既に国際興業バス定期を持ち</p>	<p>① バス通学の補助については、現校地から移転先校舎までのバス定期代を全額補助する予定です。なお、特別支援学級へ通学中の方は、就学奨励費を活用していただいておりますが、就学奨励費に加え保護者の自己負担軽減措置を検討しております。</p> <p>② 当該路線は、都営バス、国際興業バスに加え関東バスも運行しております。生徒の利便性を考慮し3社共通の定期券を購入いただける制度設計を予定しております。</p> <p>③ これまで説明をしてきましたバス通学補助における対象地域の生徒は、現在徒歩で通学していることを前提とし</p>

開催日	会場	内容	回答
		<p>ときわ台駅前までバス通学をしています。その場合どのような取扱いになりますか。</p> <p>⑥ バス停や車の通行が多い場所の支援員配置、心強いです。下校時にも配置はありますか。</p> <p>⑦ ⑤国際興業バスを利用となると定期券は1枚で済みますが、南常盤台で間違えて都営バスに乗らないよう子供が判別できるか知的に不安があります。</p> <p>⑧ 南常盤台-小茂根間のためにもう1枚追加で定期券等を持つとなれば、ときわ台駅前までは国際興業の定期を使い、南常盤台からは違う券を使うことになるため、どちらにしろ移転直前に数回練習が必要とは思っています。</p> <p>⑨ 移転前に現校舎から移転先校舎へ向かう練習は学級で行う予定はありますか。</p>	<p>ておりますが、対象者の検討とあわせて、支給範囲等も検討していきたいと思っております。</p> <p>④ 下校時の配置については、現在学校と調整中です。部活動等もあるためすべての生徒の下校時間に配置をすることは難しいですが、登校時同様、安心して登下校ができるような配置を検討しております。</p> <p>⑤ 学校へ確認したところ、特別支援学級において練習予定があるとの回答をいただいております。詳細については、学校へお問い合わせください。</p> <p>上記通学支援策については、現在詳細を調整中です。詳細が決まりしだい説明会等を実施し、改めてご案内いたしますので、そちらをご確認ください。</p>